

【中野市教育大綱】

ひと・もの・ことと関わりながら学び合い、  
支え合い、未来を切り拓くたくましい子ども

- 1 「信州なかの」ふるさと学習の推進
- 2 未来のふるさとを担う子どもたちを育むまちづくり
- 3 小中学校教育の充実
- 4 社会教育・生涯学習の充実
- 5 文化財の保護と活用

＜学校教育目標＞

かしこく  
やさしく  
たくましく

【目指す子どもの姿】

- ・笑顔で朗らかに学校生活を楽しむ子ども
- ・自分から挨拶できる子ども
- ・一生懸命に取り組む向上心のある子ども
- ・学ぶことや考えることに喜びがもてる子ども
- ・困った事や分からない事を訊くことができる子ども
- ・自分を語り、語る友や違いを受けとめられる子ども
- ・互いに認め合える子ども(自尊・他尊感情をもつ)
- ・のびのびと表現できる子ども(言葉・体・歌・絵など)
- ・下級生に優しく丁寧に教えることができる子ども

学校運営の重点 「聴き合い 学び合う 学校づくり」

具現化 (1)子どもが、「わからない(どうやるの・)」「どうしてそうなったの」と伝え、聴き合う関係  
(2)相手の考えや思いを聴き、相手の立場に立って考え、伝え、行動できる仲間づくり  
(3)開かれた学校として、地域の応援団と共に『学びの保障』と『安全・安心』の居場所づくり

重点1: 学び合い わかる授業

1 学び合いを柱に  
学力の向上を目指す

- 「学び合い」を柱にした授業実践
  - ・わからなさから出発する授業
  - ・聴き合い、対話の中で深める協同学習
  - ・学び合いの理念、授業づくり、子どもの捉え等、指導力向上に係る日常的な研究・研修
  - ・授業公開を中心に開かれた教室
- ICTを活用した授業改善
  - ・授業でのタブレット利活用の研究と研修
  - ・学習ソフトを用いた個別最適学習の取組
  - ・タブレットを活用した家庭学習の工夫
  - ・情報教育の推進、情報モラルの啓発
- 学習状況の把握と取組の具体
  - ・NRT等で実態を把握し、学力向上に向け具体的取組を研究
  - ・朝ドリルやチャレンジタイム等、日々の繰り返し学習の充実
  - ・「家庭学習の手引き」を活用し、家庭の理解を得ながら家庭学習の充実

重点2: 認め合う集団づくり

2 互いに認め合い  
思いやりの心を育む

- よりよい人間関係づくりを目指す学級経営
  - ・自ら進んで挨拶したり、「ありがとう」を伝えたりする日々の実践(いつでも、どこでも、だれとでも)
  - ・相手の話に耳を傾け、支え合う態度の育成
  - ・学級内で互いを認め合う場面の設定
  - ・Q-Uを生かした個のとらえと学級づくり
  - ・日常の人権教育と道徳教育
- 他者意識を大事にした心の醸成
  - ・子ども自らが計画運営する学校行事の推進
  - ・児童会活動、クラブ活動での提案や協力
  - ・下級生への丁寧な対応と思いやり
  - ・異年齢交流の充実  
(高丘タイム、体育集会、なかよしグループ活動、姉妹学級活動、連学年活動、縦割り清掃の取組など)
- 個に寄り添う相談・支援体制
  - ・個の特性に応じた指導や支援、他者理解
  - ・SCやSSW等、外部機関との連携
  - ・教室、授業のユニバーサルデザイン化
  - ・計画的な支援会議と学びの場の見直し

重点3: 地域と共にある学校

3 地域を知り、地域から学び  
ふるさと高丘への愛着を育む

- ふるさと学習の推進(地域との連携)
  - ・連携と愛着を育む各種行事
  - ・ふるさと高丘の地域学習を推進  
(高丘の歴史や特徴、地域産業など)
  - ・地域との福祉・交流学習の推進  
(保育園、高齢者施設など)
  - ・動物飼育、植物(カンナ等)や果樹栽培などの体験的な学習とキャリア教育
  - ・地域への積極的な情報発信  
(フェイスブックでの活動紹介、学校公開)
  - ・タブレットを活用した交流学習  
(学習交流、児童会交流、支援学級交流)
- 信州型コミュニティスクールの充実
  - ・ボランティアパトロール・読書ボランティア
  - ・外部講師によるクラブ指導
  - ・高丘っ子サポーターによる授業補佐  
(書写、ミシン・裁縫などの学習支援)
- 地域の声や学校評価を活かした取組
  - ・地域の実情から学校運営の見直しや修正

＜教職員の経営方針＞

同僚性を発揮する「チーム高丘」の教職員

- (1)安心・安全・安定した学級づくり
  - ・心身ともに健康で子どもと向き合う時間を大切にする教職員
  - ・子どもを複数の目で肯定的にとらえ育成する教職員
  - ・業務改善と非違行為根絶に取り組む開かれた教職員
- (2)「学び合い」を重視した授業づくり
  - ・同僚性を大切にし、認め合い、高め合い、学び合う教職員
  - ・互いの授業を見合い、校内研究や研修を充実
  - ・心をひらき合い、語り合い、「学び合う」職員集団づくり
- (3)組織的な支えで対応することを基本とする「チーム高丘」
  - ・一人の子どもについて全教職員で情報共有する生徒指導
  - ・全職員が特別支援教育の視点を持ち、個々の子どもの困り感に寄り添う児童理解(不適応・不登校の未然防止)
  - ・低高学年会・研究G等で連携して取り組む教職員
- (4)保護者や地域と連携し、子どもの成長を支える学校づくり
  - ・よりよい学校環境を目指し、保護者や地域の方との懇談
  - ・見直しをもった計画的な支援会議や外部機関との連携

＜保護者や地域の願い＞

子どもの成長を共に願い学校と協同

- (1)子どもたちが安心・安全に通える高丘小
  - ・登校班の整備と交通安全街頭指導、ボランティアパトロール
  - ・地域の危険箇所の把握と関係機関との情報共有、改善点
- (2)自分からあいさつのできる子どもの育成
  - ・保護者や地域の方の声掛けと月1回のあいさつ運動
  - ・校外子ども会などでの振り返りと呼びかけ
- (3)「できた」「わかった」に繋げる日々の授業への協力
  - ・学習ボランティアによる学習支援の協力
  - ・ふるさと学習推進にかかわる関係団体や資料の紹介
  - ・家庭学習の充実
- (4)地域とともにある子どもたち＆高丘小
  - ・行事、参観日、懇談会、PTA活動、CS等による学校開放
  - ・お便り、フェイスブック等による発信、学校評価による振り返り

連携